

笑顔と

神奈川県立金沢支援学校

やさしい心



学校だより

かなざわ

第 198 号 令和 6 年 2 月 26 日

学校の災害対策

元日に発生した能登半島地震から 2 カ月近く経とうとしています。この度の地震により亡くなられた方々のご冥福をお祈りし、深く哀悼の意を表するとともに、被災された方、そのご家族並びに関係の皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

同じ月に神奈川県を震源とする地震も発生しました。いつ起こるかわからない自然災害。地震を機に、身の回りの備えは十分か再点検した方もいらっしゃると思います。そこで、今月の学校だよりでは、学校の災害対策について紹介します。

校舎（分教室を除く）は防火・耐震構造で焼失・倒壊の危険性はほとんどありませんが、横浜市が作成している「防災の地図」によると津波の被害に遭う可能性があります。

南海トラフ地震が起こった際の学校周辺の想定浸水深は 0.5m～2m です。そのため、本校では津波に備え上階避難訓練を行っています。1 階から 2 階へいち早く避難するために、折り畳み式担架【右の写真】を常備しています。



備蓄品は、水（1 人 1 日 2ℓ）と食料（1 人 1 日 3 食）をそれぞれ児童生徒と教職員の人数×3 日分を用意しています。全校で防災食の喫食訓練も実施しています。



【下の写真左から保存水、わかめご飯、ドライカレー】

また、非常用トイレ（4000 回分）、発電機【右の写真】や備蓄薬等も常備しています。

8 月災害時は想定外のことが起こります。万が一に備え引き続き災害対策の充実を図っていきます。

最後に、被災地の復興支援のために尽力されている方々に敬意を表するとともに、被災された皆様の安全と被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。



副校長 坂梨 尚美

小 A



小学部 A 部門のせいかつの授業を紹介します。せいかつでは、季節を感じることをテーマに季節ならではの行事に取り組んでいます。2月は節分ということで、「節分ボーリング」に取り組みました。好きなボールを選んで「絶対倒すぞー！」とねらいを定め、えいっところがしました。見事あたらしたら5点。鬼を倒して福はうち。楽しかったね。

小 B



小学部 B 部門の音楽の授業を紹介します！音楽の授業は、①歌②器楽③鑑賞の3つの活動を行っています。歌では、みんなでリクエスト曲を歌って大盛り上がり。器楽では、音楽が始まると身体を揺らしたり、歩きながら楽器を鳴らしたりとみんなで楽しんでいます。鑑賞では、首を揺らして聴いたり、じっと教員に注目したりととても集中して鑑賞をしています。

小中学部 授業紹介

中 A



中学部 A 部門の体育を紹介します。1月の体育ではポッチャを行いました。まず、いろいろな投球台から自分に合ったものを選びます。ボールを筒に入れると投球できる台や、ひもを引っ張るとボールを止めている金具が外れて投球できる台などがあります。投げる距離は、得意な位置を探りながら、遠くから投げたり近くから投げたりします。試合も行い、みんなで盛り上がりました。

中 B



中学部 B 部門3年生の美術では、「ししまい」を作りました！折り紙をちぎって貼ったり、ステンシルで目や鼻を色付けしたりして顔をデザインしました。胴の部分は、引き裂いた布を貼り付けて表現しています。布を裂くときに鳴るビリッという音や裂けていく感覚が面白かったようで、何回も引き裂いて楽しんでいました。完成すると、早速頭に被り、踊りを舞ったり、友達や先生の頭をガブッと噛んだりして大盛り上がりでした。